

事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	神奈川県	関係市町村	三浦市
事業名	水産物供給基盤整備事業（水産流通基盤整備事業）		
地区名	ミサキ 三崎	事業主体	神奈川県、三浦市

I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名（種別）	三崎漁港（特定第3種）	漁場名	—
陸揚金額	8,859 百万円	陸揚量	8,259 トン
登録漁船隻数	357 隻	利用漁船隻数	857 隻
主な漁業種類	遠洋まぐろはえ縄、大型定置網、刺し網、底引き網、魚類養殖	主な魚種	まぐろ類、ぶり類、たい類、さば類
漁業経営体数	67 経営体	組合員数	524 人
地区の特徴	三崎漁港は、神奈川県三浦半島南端部に位置する特定第3種漁港であり、昭和初期から全国有数の遠洋まぐろの基地となっている。近隣にはまた、東京や横浜等の大消費地に近く、活魚等の流通基地の役割を担っている。 さらに、近隣には城ヶ島、油壺などの観光地を抱え、海洋性レクリエーション需要の拡大など都市住民との交通拠点となっている。		
2. 事業概要			
事業目的	水産物の流通機能確保に必要な陸揚岸壁に対して耐震強化工事ならびに液状化対策工事を施すことにより、地震等の災害発生時における漁港機能の確保を図るとともに、衛生管理計画に基づき、低温卸売場の新設、既設卸売場および水産物集配施設の改修、岸壁等の改良等の整備を行うことにより、漁港の高度衛生管理対策を促進する。 また、近年、荒天時に二町谷1号護岸からの越波による浸水被害が発生しているため、対策工を施し、背後地の防護を図る。		
主要工事計画	・ 二町谷南1号護岸（改良） L=250.0m ・ 花暮1号出漁準備岸壁（本港）（改良） L= 92.5m ・ 2号魚揚岸壁（本港）（改良） L=191.0m ・ 西浜1号－5m岸壁（本港）（改良） L=140.0m ・ 西浜2号－3m岸壁（本港）（改良） L= 18.0m ・ 通り矢－5m岸壁（本港）（改良） L=151.0m ・ 道路情報板（改良） N= 6基 ・ 荷さばき所 N= 1式		
事業費	7,125百万円	事業期間	平成24年度～令和2年度

II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化				
<p>本事業では、平成29年に期中の評価（再評価）を実施し、経済効果の妥当性について、評価を行っている。当時から、総便益の変化の要因として事業費の増額、総便益の変化の要因として計算に用いる単価の変化があり、結果として費用便益比は減少した。</p>				
2. 事業効果の発現状況				
<p>事業実施以前は、岸壁の耐震化等が不十分であったため、地震等の災害時における水産物の流通機能を確保といった問題があったが、本事業による岸壁の耐震化対策の改良工事の実施により改善が図られた。</p>				
3. 事業により整備された施設の管理状況				
<p>本事業により整備された施設は、漁港管理者である神奈川県が漁港及び漁場の整備等に関する法律の第26条に規定に基づき漁港管理条例を定め、これに従い、適正に漁港の維持、保全及び運営その他漁港の維持管理を行っている。</p>				
4. 事業実施による環境の変化				
<p>事業実施に際し、騒音、振動、大気及び水質汚濁等の環境を配慮した結果、事業実施による環境の変化は生じていない。</p>				
5. 社会経済情勢の変化				
<p>事業対象地区における登録漁船隻数は、平成27年漁港の港勢調査では、434隻であったが、漁業者の高齢化や人口減少等の要因により令和5年には357隻に減少している。また、組合員数は、平成27年には669人であったが、令和5年には、524人とこちらも減少している。さらに、陸揚量は、平成26年には15,793トンであったが、令和5年には8,259トンとやはり減少しているが、魚価については、904円/kgから1,070円/kgと上昇している。</p>				
6. 今後の課題				
<p>本事業により地震等の災害時における水産物の流通機能確保や高度衛生管理化が図られたが、各施設のライフサイクルコストの低減が課題である。課題に対しては、施設の老朽化調査により健全度を判定し、健全度に応じた補修工事を行うにより、予防保全型の施設管理を行うことにより、ライフサイクルコストの低減を図る。</p> <p>なお、施設の老朽化調査を行う技術者不足等による課題に対しては、UAV（ドローン）や3Dレーザースキャナー等の新技術導入により対応していく。</p>				
平成29年評価時の 費用便益比 B/C	3.59	現時点の B/C	1.14	※別紙「費用対効果分析 集計表」のとおり

III 総合評価

<p>三崎漁港は、全国有数の遠洋まぐろ基地で、また、東京や横浜等の大消費地に近く、さらに活魚等の流通拠点として重要な役割を担っており、地震等の災害発生時における漁港機能の確保を図るために、水産物の流通機能確保に必要な陸揚げ岸壁に対して耐震強化工事及び液状化対策工事を実施した。</p> <p>また、漁港の高度衛生化を図るため、衛生管理計画を策定し、計画に基づき、低温卸売場の新設や既存卸売場及び集配施設の改修を行うとともに、新たに岸壁部に庇を新設し水産物の品質の向上や荷役作業の効率化が図られた。</p> <p>貨幣価値化が可能な効果について、費用対効果分析を行ったところ、費用便益比は、1.0を超えており、経済効果についても確認されている。</p> <p>さらに、高度衛生管理向上を目的とした各施設の整備や改良により水産物の品質が向上し、価値の向上につながった。また、高度衛生管理は「黒潮キンメ」のブランド化のきっかけの一つになった。</p> <p>以上の結果から、本事業は当該地区において、漁業経営の安定及び地域経済の振興へ寄与したものとなっており、想定した事業効果の発現が認められる。</p>

費用対効果分析集計表

1 基本情報

都道府県名	神奈川県	地区名	三崎
事業名	水産流通基盤整備事業	施設の耐用年数	50年 荷さばき所：38年

2 評価項目

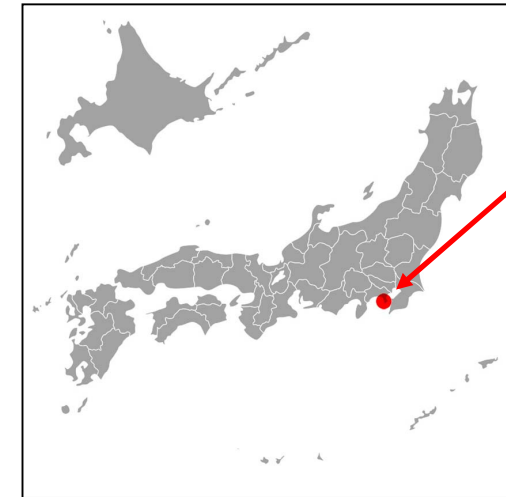
	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の 評価項目 及び 便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	
②漁獲機会の増大効果				千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果				千円
④漁獲物付加価値化の効果			14,911,395	千円
漁業就業環境の向上		⑤漁業就業者の労働環境改善効果		千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果		千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果	355,151	千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
計（総便益額）		B	15,266,546	千円
総費用額（現在価値化）		C	13,344,054	千円
費用便益比		B / C	1.14	

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

県による西浜－5m岸壁及び西浜－3m岸壁における岸壁耐震化では、岸壁の耐震化による漁業生産活動の停止期間の短縮や被害軽減効果のほか、底施設の整備により、今回併せて整備した三浦市による荷さばき所の高度衛生管理化の一旦を担う効果が期待できる。

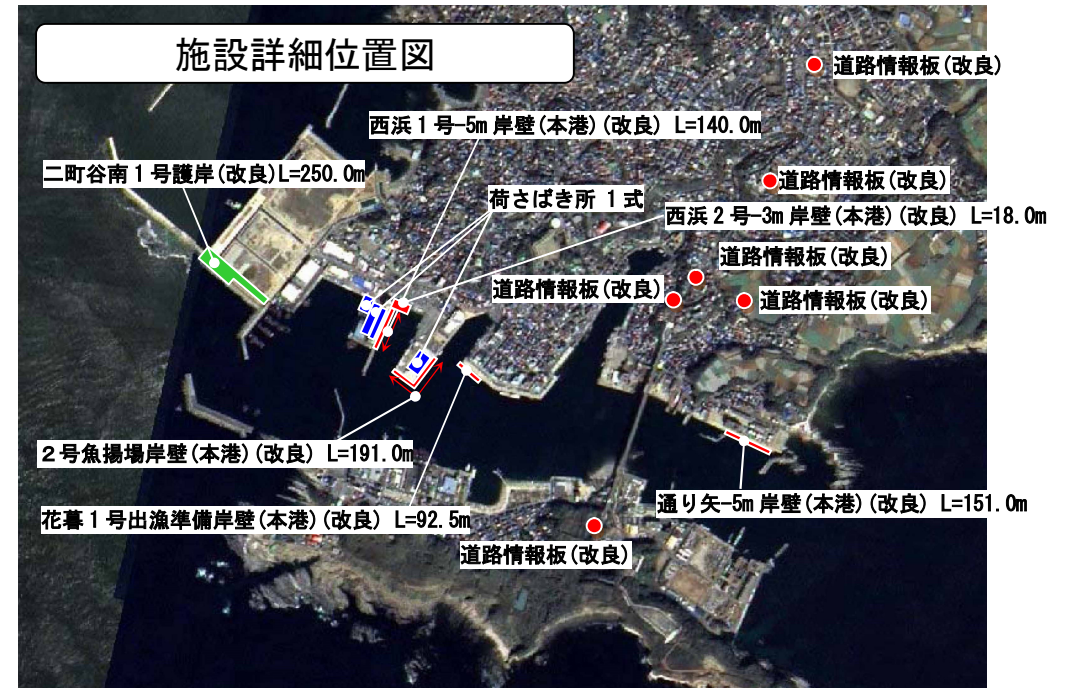
水産流通基盤事業（特定） 三崎地区 事業概要図

【全景】



三崎地区

施設詳細位置図



事業主体：神奈川県、三浦市

主要工事計画：

二町谷南1号護岸(改良)	L=250.0m
花暮1号出漁準備岸壁(本港)(改良)	L= 92.5m
2号魚揚場岸壁(本港)(改良)	L=191.0m
西浜1号-5m岸壁(本港)(改良)	L=140.0m
西浜2号-3m岸壁(本港)(改良)	L= 18.0m
通り矢-5m岸壁(本港)(改良)	L=151.0m
道路情報板(改良)	N= 6箇所
荷さばき所	N= 1式

事業費：7,125百万円

事業期間：平成24年度～令和2年度

三崎地区 水産流通基盤事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1) 事業目的 : 水産物の流通機能確保に必要な陸揚岸壁に対して耐震強化工事ならびに液状化対策工事を施すことにより、地震等の災害発生時における漁港機能の確保を図るとともに、衛生管理計画に基づき、低温卸売場の新設、既設卸売場および水産物集配施設の改修、岸壁等の改良等の整備を行うことにより、漁港の高度衛生管理対策を促進する。
また、近年、荒天時に二町谷1号護岸からの越波による浸水被害が発生しているため、対策を施し、背後地の防護を図る。
- (2) 主要工事計画 :
- | | |
|---------------------|----------|
| ・二町谷南1号護岸(改良) | L=250.0m |
| ・花暮1号出漁準備岸壁(本港)(改良) | L=92.5m |
| ・2号魚揚場岸壁(本港)(改良) | L=191.0m |
| ・西浜1号-5m岸壁(本港)(改良) | L=140.0m |
| ・西浜2号-3m岸壁(本港)(改良) | L=18.0m |
| ・通り矢-5m岸壁(本港)(改良) | L=151.0m |
| ・道路情報板(改良) | N=6基 |
| ・荷さばき所 | N=1式 |
- (3) 事業費 : 7,125百万円
- (4) 工期 : 平成24年度～令和2年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」(令和7年6月改定 水産庁)及び同「参考資料」(令和7年6月 水産庁)等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用(現在価値化)	①	13,344,054 (千円)
総便益額(現在価値化)	②	15,266,546 (千円)
総費用総便益比	②÷①	1.14

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費(千円)
2号魚揚場岸壁(本港)(改良)	L= 191.0m	396,468
西浜1号-5m岸壁(本港)(改良)	L= 140.0m	263,600
花暮1号出漁準備岸壁(本港)(改良)	L= 92.5m	193,506
通り矢-5m岸壁(本港)(改良)	L= 151.0m	172,993
西浜2号-3m岸壁(本港)(改良)	L= 18.0m	61,230
道路情報板(改良)	N= 6基	181,256
二町谷南1号護岸(改良)	L= 250.0m	1,313,013
荷さばき所	N= 1式	4,543,308
計		7,125,374
維持管理費等		255,000
総費用(消費税込)		7,380,374
内、消費税額		555,999
総費用(消費税抜)		6,824,375
現在価値化後の総費用		13,344,054

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額(千円)	効果の要因
漁獲物付加価値化の効果		632,796	・衛生管理面の強化による価格維持効果
生命・財産保全・防御効果		45,160	・災害時における陸揚げの損失回避効果
計		677,956	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価期間	年度	割引率 ①	デフ レート ②	費用 (千円)			便益 (千円)					
				事業費 (維持管理 費含む)	事業費 (税抜)	現在価値 (維持管理費 含む)	水産物 生産コスト 削減効果	漁獲物 付加価値化 の効果	漁業就業者 の労働環境 改善効果	避難・救助・ 災害対策効果	計 ④	現在価値 (千円) ①×④
					③	①×②×③						
-13	24	1.665	1.573	283,276	269,787	706,584					0	0
-12	25	1.601	1.579	508,655	484,433	1,224,636					0	0
-11	26	1.539	1.510	335,780	310,907	722,514					0	0
-10	27	1.480	1.484	409,852	379,493	833,488					0	0
-9	28	1.432	1.484	1,355,807	1,255,377	2,667,787					0	0
-8	29	1.369	1.446	1,058,150	979,769	1,939,525					0	0
-7	30	1.316	1.401	1,633,000	1,512,037	2,787,767					0	0
-6	1	1.217	1.363	1,360,597	1,236,906	2,051,744				15,542	15,542	18,914
-5	2	1.217	1.342	195,257	177,506	289,906				15,335	15,335	18,662
-4	3	1.170	1.295	5,000	4,545	6,887	0	632,796	0	15,130	647,926	758,073
-3	4	1.125	1.191	5,000	4,545	6,090	0	632,796	0	14,928	647,724	728,690
-2	5	1.082	1.070	5,000	4,545	5,262	0	632,796	0	14,729	647,525	700,622
-1	6	1.040	1.000	5,000	4,545	4,727	0	632,796	0	14,533	647,329	673,222
0	7	1.000	1.000	5,000	4,545	4,545	0	632,796	0	14,339	647,135	647,135
1	8	0.962	1.000	5,000	4,545	4,371	0	632,796	0	14,148	646,944	622,061
2	9	0.925	1.000	5,000	4,545	4,203	0	632,796	0	13,959	646,755	597,962
3	10	0.889	1.000	5,000	4,545	4,041	0	632,796	0	13,773	646,569	574,798
4	11	0.855	1.000	5,000	4,545	3,885	0	632,796	0	13,590	646,386	552,533
5	12	0.822	1.000	5,000	4,545	3,736	0	632,796	0	13,408	646,204	531,133
6	13	0.790	1.000	5,000	4,545	3,592	0	632,796	0	13,230	646,026	510,563
7	14	0.760	1.000	5,000	4,545	3,454	0	632,796	0	13,053	645,849	490,792
8	15	0.731	1.000	5,000	4,545	3,321	0	632,796	0	12,879	645,675	471,788
9	16	0.703	1.000	5,000	4,545	3,194	0	632,796	0	12,707	645,503	453,522
10	17	0.676	1.000	5,000	4,545	3,071	0	632,796	0	12,538	645,334	435,964
11	18	0.650	1.000	5,000	4,545	2,953	0	632,796	0	12,371	645,167	419,088
12	19	0.625	1.000	5,000	4,545	2,839	0	632,796	0	12,206	645,002	402,866
13	20	0.601	1.000	5,000	4,545	2,730	0	632,796	0	12,043	644,839	387,274
14	21	0.577	1.000	5,000	4,545	2,625	0	632,796	0	11,883	644,679	372,286
15	22	0.555	1.000	5,000	4,545	2,524	0	632,796	0	11,724	644,520	357,879
16	23	0.534	1.000	5,000	4,545	2,427	0	632,796	0	11,568	644,364	344,031
17	24	0.513	1.000	5,000	4,545	2,334	0	632,796	0	11,414	644,210	330,720
18	25	0.494	1.000	5,000	4,545	2,244	0	632,796	0	11,261	644,057	317,925
19	26	0.475	1.000	5,000	4,545	2,159	0	632,796	0	11,111	643,907	305,856
20	27	0.456	1.000	5,000	4,545	2,073	0	632,796	0	10,963	643,759	293,554
21	28	0.439	1.000	5,000	4,545	1,995	0	632,796	0	10,817	643,613	282,546
22	29	0.422	1.000	5,000	4,545	1,918	0	632,796	0	10,673	643,469	271,544
23	30	0.406	1.000	5,000	4,545	1,845	0	632,796	0	10,530	643,326	261,190
24	31	0.390	1.000	5,000	4,545	1,773	0	632,796	0	10,390	643,186	250,843
25	32	0.375	1.000	5,000	4,545	1,705	0	632,796	0	10,251	643,047	241,143
26	33	0.361	1.000	5,000	4,545	1,641	0	632,796	0	10,115	642,911	232,091
27	34	0.347	1.000	5,000	4,545	1,577	0	632,796	0	9,980	642,776	223,043
28	35	0.333	1.000	5,000	4,545	1,514	0	632,796	0	9,847	642,643	214,000
29	36	0.321	1.000	5,000	4,545	1,459	0	632,796	0	9,716	642,512	206,246
30	37	0.308	1.000	5,000	4,545	1,400	0	632,796	0	9,586	642,382	197,854
31	38	0.296	1.000	5,000	4,545	1,345	0	632,796	0	9,458	642,254	190,107
32	39	0.285	1.000	5,000	4,545	1,295	0	632,796	0	9,332	642,128	183,006
33	40	0.274	1.000	5,000	4,545	1,245	0	632,796	0	9,208	642,004	175,909
34	41	0.264	1.000	5,000	4,545	1,200	0	0	0	9,085	9,085	2,398
35	42	0.253	1.000	5,000	4,545	1,150	0	0	0	8,964	8,964	2,268
36	43	0.244	1.000	5,000	4,545	1,109	0	0	0	8,844	8,844	2,158
37	44	0.234	1.000	5,000	4,545	1,064	0	0	0	8,726	8,726	2,042
38	45	0.225	1.000	5,000	4,545	1,023	0	0	0	8,610	8,610	1,937
39	46	0.217	1.000	5,000	4,545	986	0	0	0	8,495	8,495	1,843
40	47	0.208	1.000	5,000	4,545	945	0	0	0	8,382	8,382	1,743
41	48	0.200	1.000	5,000	4,545	909	0	0	0	8,270	8,270	1,654
42	49	0.193	1.000	5,000	4,545	877	0	0	0	8,160	8,160	1,575
43	50	0.185	1.000	5,000	4,545	841	0	0	0	8,051	8,051	1,489
計				7,380,374	6,824,398	13,344,054	計					15,266,546

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定
 ※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

3. 効果額の算定方法

(2) 漁獲物付加価値の効果

1) 衛生管理面の強化による価格維持効果

老朽化した荷さばき所を衛生管理型荷さばき所に建替えることにより、水産物の品質が維持され、魚価の低下が抑制される。

区分		備考
対象魚種の年間取扱金額 (千円/年)	①	調査日：令和7年11月7日
マグロ類	8,179,947	調査対象者：令和3年から令和6年の水揚高統計 (三浦市三崎水産物地方卸売市場管理事務所発行) の4か年平均値
衛生管理効果率 (%)	②	調査実施者：神奈川県水産課職員
衛生管理面の強化に伴い増加した経費 (千円/年)	③	調査実施方法：衛生管理面の強化に伴い増加した経費を三浦市職員にヒアリング
年間便益額 (千円/年)	632,796	①×②-③

(4) 生命・財産保全・防御効果

1) 災害時における陸揚げの損失回避効果

主要な陸揚岸壁である西浜1号、2号及び2号魚揚岸壁を耐震化することにより、大規模災害後に水産業の早期再開が図られ、漁業生産が維持される。

区分		備考
年間陸揚金額 (千円/年)	①	9,841,000
漁業経費率 (%)	②	60.6
1年目の休業損失額 (千円)	③	3,554,241
社会的割引率 (%)	④	0.962
2年目の休業損失額 (千円)	⑤	1,865,007
災害1回当たりの被害軽減額 (千円/回)	⑥	5,419,248
耐震性能を強化した施設が計算開始からt年目に機能を発揮する確率 ※ここでは、1年目の確率を示す	⑦	0.008
年間便益額 (千円/年) ※ここでは、1年目の便益額を示す		45,160

港勢調査(R元からR5の5か年平均値)

漁業経営調査報告(R6)

①×(1-②)×11/12
※震災1ヶ月目以降を対象とする

水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン

①×(1-②)×④×1/2*12/12
※1年目の復旧率を50%と想定

③+⑤

$(1/75-1/200) \times (1-1/75)^{t-1}$

⑥×⑦